

# 【平成23年度の研修主題と研究推進の構想概念図】

## 平成23年度研修主題

確かな学力を育み、一人ひとりの自己実現を大切にする進路保障の推進をめざして

### □ 研修主題について

【確かな学力】について、文部科学省では次のように定義している。

知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力

本校ではこれをもとに、【確かな学力】について、次のように定義し、子どもたちに付けていきたい力として、様々な研修を深めてきた。

自ら考え、判断し、粘り強く自分の進路を切り拓いていこうとする力

本校生徒の課題として〈基礎学力の不足〉がある。基礎学力が定着しない要因として次の6つがあげられている。

- 学習規律がしっかりとは身に付いていない。
- 学習に対する意欲がもてない。
- 勉強の仕方が分からない。
- 家庭学習の習慣が身に付いていない。
- 学習のつまずき（聞き取り、書き取り、読み取り、計算力の不足）がある。
- 互いに学び合う関係が、十分にはできていない。

また、アンケート調査から見えてきたものとして、定期テスト前ほどの学年も比較的に勉強をすくなく、普段は家庭学習をあまりしていない。そのため定期テストが終わると学習意欲をなくす生徒が多く見られる。テスト範囲の広い標準学力テストなどでは、学力が十分に定着していない様子が読み取れる。基礎学力の定着と安心して学べる学習環境づくりに重点を置いた研修をすることで確かな学力を身に付けた生徒を育てていきたい。

基礎学力を定着させる取り組みとして、授業改善と学習課題の工夫がある。授業改善のポイントとして、次の3点がある。

- 学習規律の確め ..... チャイム席、学習準備、発表のマナーなど
- 学習意欲を高める工夫 ..... 発問、板書、リズム、学習形態、教材開発など
- 家庭学習の定着 ..... 宿題の工夫・予習課題の提示など

宿題の出し方としては、復習も大切であるが、予習課題を出す工夫が大事である。家で学習したことが、そのまま次の授業で活かされるため、わかる喜びを実感できるのは、予習のもつ大きな利点である。基礎的なことを丁寧に教え、考えさせる授業（先行学習）づくりをすること、意欲的に学習する生徒を育てていきたい。

今年度は、年間3回の研究授業を行うことにした。回数は少ないが、事後研修を工夫し、充実させることで中身の濃い研修会にしたい。教育委員会からも研究授業では、指導主事招聘し、その助言をもとに授業改善につなげていきたい。

日々の授業を通して、生徒一人ひとりの基礎学力の定着を図り、生徒自らが考え、判断し、粘り強く自分の進路を切り拓いていこうとする力（確かな学力）を身に付けさせたい。

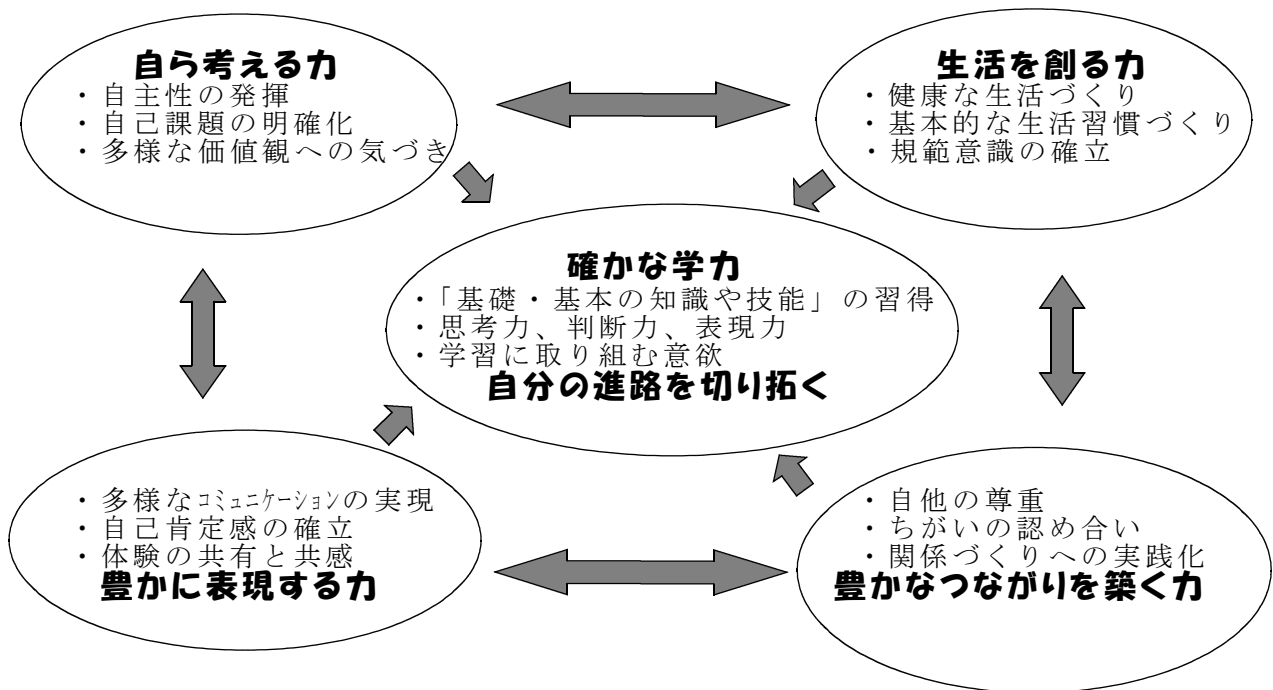
確かな学力を身に付けていくためには、生徒一人ひとりが安心して学べる学習環境づくりが必要である。そのためには、学級集団を中心とした多様な集団・組織の中で、生徒一人ひとりが、豊かな人間関係を築くことが大切である。QU検査を活用したワークショップや人権学習をはじめとする様々な体験活動を通して互いに支え合う関係づくりを構築し、安全・安心な学習環境をつくっていきたい。

生徒一人ひとりの将来の夢の実現に向けた進路指導は、中学校教育の最も大きな課題の1つである。

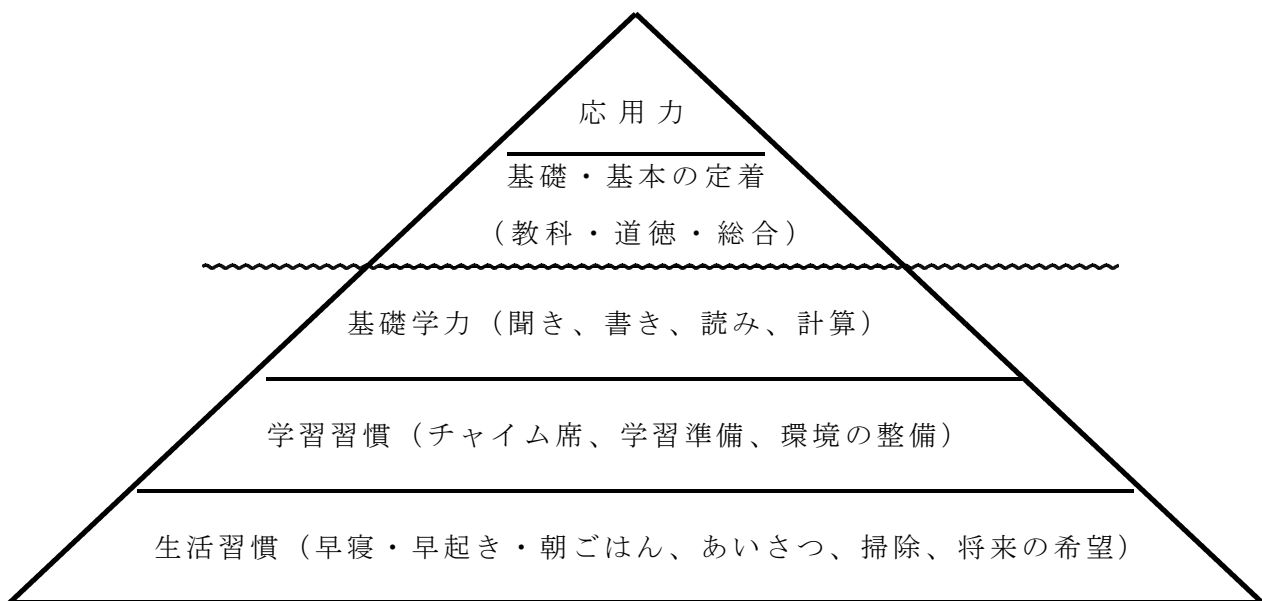
- 基礎学力の定着
- 将来への明るい展望
- 子ども自らが進路を選択できる力の育成

今年度は、キャリア教育の視点をもとにして、一人ひとりの自己実現を大切にしたい進路保障を進めていきたい。

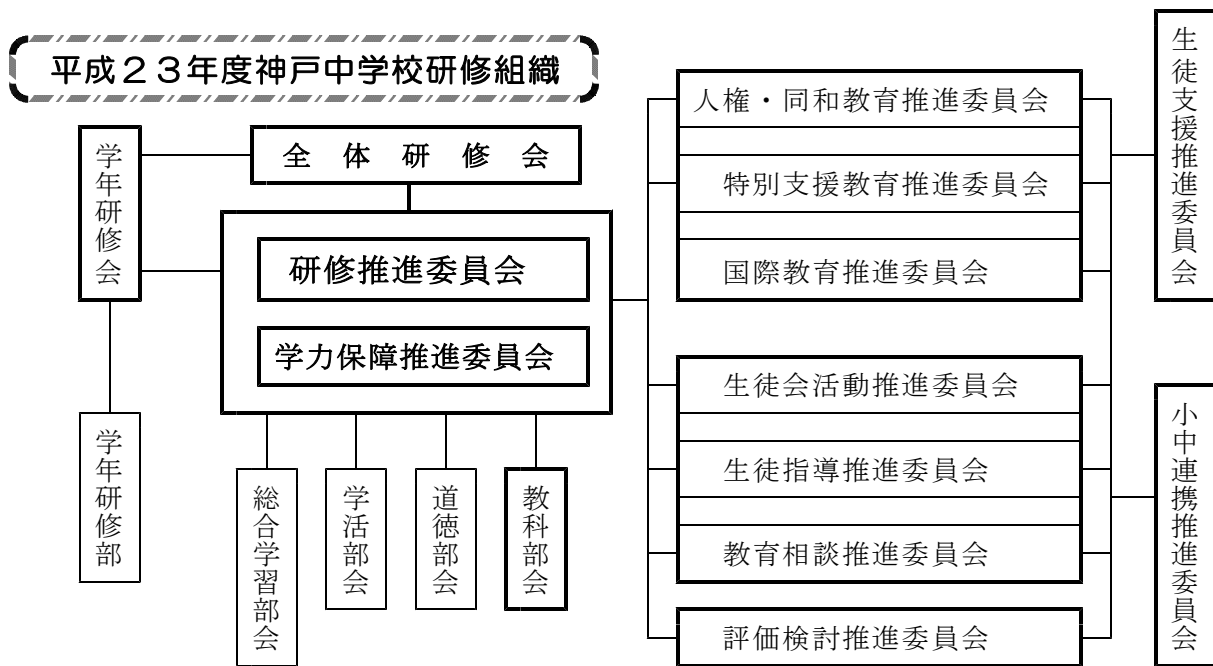
## 【育てていきたい力】



## 【確かな学力の基盤】



## 【 研修推進の組織 】



### < 定例委員会を行う組織 > ~~~~~ 推進委員会の代表者

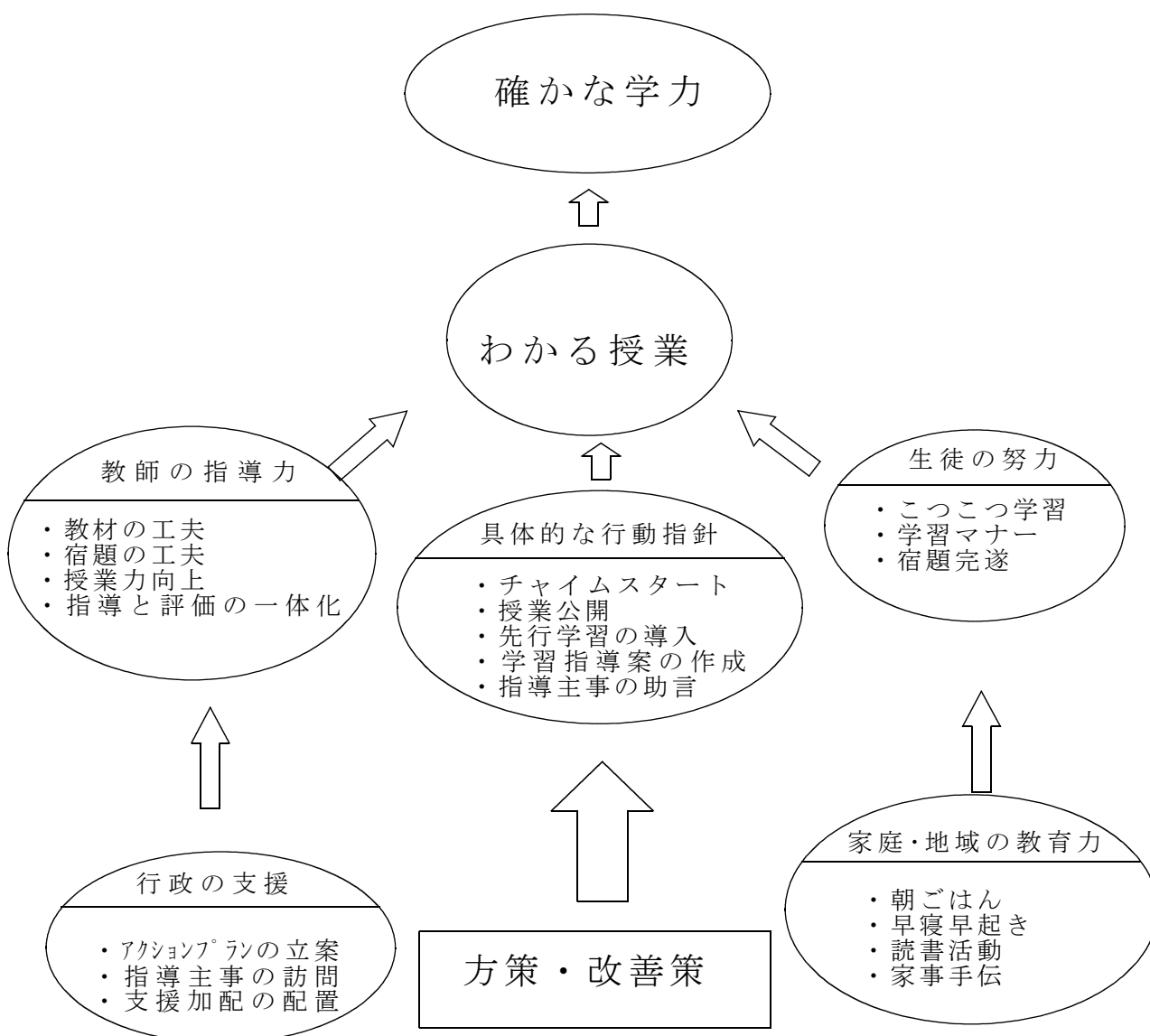
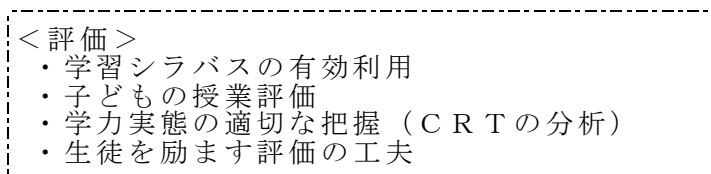
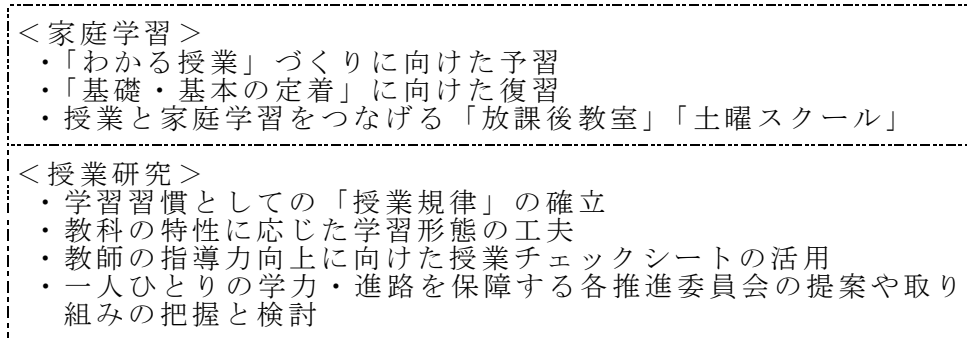
- ★研修推進委員会・・・週1時間  
(校長・教頭・教務・研修主任・各学年の研修委員)
- ★人権・同和教育推進委員会・・・週1時間  
(校長・教頭・支援担当2名・人権同和教育担当各学年各2名)
- ★生徒指導推進委員会・・・週1時間  
(校長・教頭・生徒指導主事・生徒指導担当各学年2名・養護教諭1名)
- ★生徒支援推進委員会  
(校長・教頭・コーディネーター・支援担当・生徒指導主事・スクールカウンセラー)
- ★教育相談推進委員会・・・週1時間  
(校長・教頭・コーディネーター・支援担当2名・生徒指導主事  
教育相談担当各学年1名・養護教諭1名・カウンセラー)
- ★生徒会活動推進委員会・・・週1時間  
(校長・教頭・生徒会担当4名)
- ★特別支援教育推進委員会・・・週1時間  
(校長・教頭・コーディネーター・特別支援担任3名・担当各学年1名)
- ★国際教育推進委員会・・・週1時間  
(校長・教頭・国際担当1名・通訳・担当各学年1名)
- ★評価検討推進委員会・・・週1時間  
(校長・教頭・教務・進路主事・研修主任・評価担当各学年1名)

### < 各推進委員会の長が随時、時間を設定し会を行う組織 >

- ★幼小中連携推進委員会  
(校長・教頭・教務・生徒指導主事・研修主任)
- ★学力保障推進委員会  
(校長・教頭・支援担当・研修主任・各学年の研修委員)

## 【 具体的な手だて 】

### ①基礎学力の定着と「わかる授業」の創造をめざした授業研究



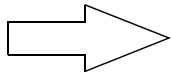
## ②安全・安心な学習環境づくり

- 一人ひとりを大切にできる仲間づくりからいじめの克服をめざして  
→ いじめの実態を把握し、各推進委員会と連携した取り組みの実践
- 差別事象への対応  
→ 関係者会議・対応者会議・全体会議
- こどもの生活背景・実態に基づき、事実を共有した指導体制の確立
- Q U 検査の実施（1年生は年間2回、2・3年生は年間1回実施）  
→ 安全・安心の学級集団づくり
- 支援教室1・2の開設とその充実

- スクールカウンセラー・SMAPとの協働
- けやき教室（適応指導教室）・子ども家庭支援室・児童相談所との連携
- 青少年課・教育研究所との連携・協力
- 鈴鹿警察署との連携・協力

- 家庭訪問、教育相談の系統的な実施
- 保護者参画の取り組みの推進  
→ 学校行事への参加呼びかけ
- 学校ボランティアの有効活用  
→ ボランティアによる学習環境の整備
- 学校公開デーの実施

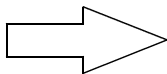
- 神戸中学校区の協議研究 → 神戸中学校区コミュニティスクール（学力保障・人権教育・生徒指導）



各推進委員会

## ③豊かな体験活動

- 人権教育センターとの協働の取り組みの推進
- 「部落差別」「外国人差別」「しょうがい者差別」をなくすための取り組みの充実  
→ 出合い学習・人権教育センターとのコラボ学習の実施など
- 豊かな人権感覚を育てる取り組みの推進  
→ むくたいフェスタ・人権ネットワーク・校区人権フォーラムなどへの参加



人権・同和教育推進委員会

- 自然体験活動
- 集団宿泊学習
- 集団行動の学習
- キャリア教育に基づいた進路の学習



1 学年

- 社会見学
- 地域との協働による豊かな職場体験学習
- キャリア教育に基づいた勤労観・職業観の育成



2 学年

- 修学旅行
- 政治・経済のしくみ
- ホスピタリティの心
- キャリア教育に基づいた進路選択・進路の保障



3 学年

## <具体的な取り組みについて>

- ・年間3回授業研究を実施する。
- ・基礎的、基本的事項をいねいに教え、考えさせる授業づくりを行う。
- ・学習規律を確立するために「チャイム着席」を徹底する。
- ・学習意欲を高めるための多様な工夫を行う。
- ・宿題の出し方を工夫し、わかる授業づくりを実践する。(先行学習の導入)
- 誰が、存在感もてる授業づくりの工夫。
- ・授業では、指導主事を招聘し、助言をしていただく。
- ・学期はじめに「家庭学習の手引き」「シラバス」を使い家庭学習の仕方や授業の受け方をいねいに指導する。
- ・家庭学習の実態を把握するため、年間2回アンケート調査を実施する。(7月・12月)
- ・特別な支援を必要とする生徒のニーズを的確に把握し、個に応じた支援を工夫する。
- ・CRT検査を1年次、2年次で実施し学力の状況を的確に把握する。
- 1年生は国語・数学……………4月に実施
- 2年生は国語・数学・英語……………4月と1月に実施
- 3年生は国語・数学・英語……………平成22年1月実施済みのデータの活用を図る。
- ・QU検査を実施し、安心して学べる学級集団・学年集団づくりを行う。
- 1・2年生は、5月と2月に実施(年間2回)
- 3年生は、5月に実施(年間1回)
- ・キャリア教育に基づいた進路保障を行う。
- 進路指導は出口指導ではない。
- 生涯を見据えた進路の保障。

## <研修予定>

4 / 2 7 (水)	今年度の研修の方向の確認
4 月中	教科部会・学年部会での話し合い
5 月中	シラバス・学習の手引き作成→配布・説明
5 / 2 5 (水)	学習会1「信頼を得る方法」について
6 / 2 2 (水)	授業研究(3年生)……………教科
7 月上旬	家庭学習の実態把握1
7 月中	教科部会「指導と評価」について
8 / 2 9 (月)	全体研修会(JSLバンドスケール研修)
9 / 2 8 (水)	学習会2「QU検査の有効活用」について
1 0 / 2 6 (水)	学習会3「人権・同和教育」について
1 1 / 2 4 (木)	授業研究(1年生)……………人権
1 2 / 上旬	家庭学習の実態把握2
1 / 2 6 (木)	学習会3「自己評価・経営品質」について
2 / 2 3 (木)	授業研究(2年生)……………教科
3 / 1 4 (水)	研修のまとめ
	今年度の成果と課題確認・来年度の方向性の検討